

## 令和7年度 第2回岡崎市図書館交流プラザ運営協議会 会議録

- 1 日時  
令和8年3月24日（火） 午後3時30分～4時40分
- 2 会場  
図書館交流プラザ 会議室302
- 3 出席委員（6名）

田中 人	委員（山陽学園大学教授）
山本 伸	委員（岡崎市図書館協議会委員）
長谷川伸介	委員（株式会社まちづくり岡崎取締役事業統括部長）
西野 陽子	委員（りぶらサポータークラブ会員）
諸富 智枝	委員（市民公募）
長尾 晴香	委員（市民公募）
- 4 欠席委員（1名）

野澤 琳	委員（市民公募）
------	----------
- 5 傍聴者  
なし
- 6 説明等のため出席した職員の職・氏名
  - (1) 社会文化部

山田能正（部長）
ア 生涯学習課
岡田武士（課長）
羽田正輝（副課長）
尾崎孝幸（総務企画係長）
小川正紀（施設管理係長）
太田隼平
イ 多様性社会推進課
本間孝司（課長）
ウ 中央図書館
谷端健司（館長）
丸本洋乃（副館長）
  - (2) 市民安全部

市民協働推進課
鈴木温子（副課長）
- 7 次第
  - (1) 開会あいさつ
  - (2) 議題

ア 運営状況
--------

## イ その他

### 8 議事（要旨）

運営状況について資料に基づき事務局による説明、その後質疑応答。

#### <施設利用率について>

委員 新型コロナウイルスの影響で施設の利用率が一時低下していたと思うが現在ほどの程度回復しているか。

事務局 新型コロナウイルスが蔓延する前より高いと考える。

#### <修繕について>

委員 施設の修繕に関して今後の予定はあるか。また、費用についてどのように考えているか。

事務局 壁や空調については経年劣化に併せて考えていく。  
予算にも限りがあるため費用を抑えられるところは自前で修繕する等工夫する必要があると考える。

#### <施設利用料について>

委員 会議室以外のスペースを貸借し収益化する計画はあるか。

事務局 現在では考えていない。

#### <収支について>

委員 令和7年度の収支報告はどこで確認ができるか。

事務局 図書館交流プラザ年報の発行に併せて公表をするため、例年どおりであると6～8月を想定している。

#### <居心地空間づくり事業について>

委員 居心地空間づくり事業のアンケートを見るとイベントを知った理由が「たまたまりぶらに来た」がほとんどであり、広報が弱いと考える。

広報誌以外の手法も用いる等して力をいれてほしい。

また、内田修ジャズコレクション展示室についても新規の人でも気軽に入れるようなコーヒーを飲んで寛げる場所になると良い。

りぶらは市民の居場所づくりとして重要な拠点である。

様々な属性の市民が利用する施設であるため全ての人が安心できる空間づくりに取り組んでいただきたい。

事務局 引き続き検討し、取り組んでいく。

委員 このようなアンケートの結果をしっかりとフィードバックして市民が市政に参加しているという実感が沸くようなものにしてほしい。

#### <ジャズの街岡崎の推進について>

委員 リクエストジャズとは何か。

事務局 当館で所蔵している1万2,000枚を超える内田修コレクションから聞きたいレコード等を選んでもらい、ラウンジにて再生し楽しんでいただいている。

委員 ジャズの思想、文化、歴史的背景をより広い世代に発信できるよう取り組んでいただきたい。

委員 内田修ジャズコレクション展示室内にコーヒーを飲めるようなコーナーを設置すればジャズに詳しくない層の人も足を運んでもらえると考える。また、夕方の社会人が気軽に来ることができる「寄り道ジャズ」のような企画を展開しても面白いと考える。

#### <情報発信>

委員 先の質疑応答でもあったが情報発信に課題を感じる。図書館のイベント等、小学校中学校に対しても積極的に広報活動をしていただきたい。また、図書館交流プラザの職員が現地に赴きPR活動をしていただいても構わない。

事務局 引続き検討していく。

委員 図書館交流プラザ近辺の商業施設としては人が集まる施設があるというのは大きなメリットとして感じる。施設の良さをより分析しジャンルごとにターゲットングをした広報をしてほしい。

#### <利用者からの意見について>

委員 利用者からの意見についてどのようなものがあったのか。良い意見だったのかクレームだったそれに対してどのような対応をしたのか。

事務局 「印刷作業室についての要望」については印刷したものに線が入ってしまうという意見や新紙幣が使えないためそれに対する意見などである。いただいた意見については対応できるものについてはすぐに行い、時間がかかるものについては引き続き検討をしていく。

#### <その他>

委員 事務局として今後、図書館交流プラザをどのような施設として運営していきたいか。利用率を増やしたいのかなど具体的な展望はあるか。

事務局 図書館交流プラザは市民活動団体が貸室を利用した場合、利用料金が半額となる。例えば、貸室で収益を上げようとするならば市民活動団体以外の利用促進を図ることが効果的である。一方で、りぶらの機能である市民活動の支援の側面では、市民活動の活性化のため市民活動団体の利用を促し支援していくことが施設の役割として大切なことでもある。

このような様々な課題があるが、市民の様々なニーズに沿った施設運営をしていきたいと考えている。

委員 図書館機能と活動支援と文化創造と交流の4つの機能則って運営

をしていることはわかるが、今回の資料をみて、それらについて具体的にどのようなことをしているかが見えてこない。目標を設定するなどして取り組んでいただきたい。

委員 現在任期の委員は今回で最後の委員会となるが次回の委員会では今回出た意見をどう取り入れたかを報告していただくことに期待している。

以 上